

廃スプレー缶類無害化処理業務委託 仕様書

1 目的

家庭から排出される廃スプレー缶類^{※1}（以下「対象物」という。）を、指定保管施設及び資源リサイクルステーション設置施設から収集し、受注者の処理施設まで運搬後、無害化処理を行う。その後、金属類を回収して再資源化するとともに、再資源化できないものは適正に処分することを目的とする。

※1 「廃スプレー缶類」とは、カセットコンロ用ボンベや整髪料、殺虫剤、塗料などのスプレー缶のことをいう。

2 期間

令和7年6月1日から令和8年3月31日まで

3 指定保管施設及び資源リサイクルステーション設置施設

指定保管施設は次のとおりとする。

名称	住所
(株)清和サービス	相模原市中央区宮下3-9-18
合同資源サービス(株)	相模原市中央区田名塩田1-1-22
大野産業(株)	相模原市南区麻溝台1-8-5

※指定保管施設の敷地面積の関係で大型車両での搬出は困難であるので、十分注意すること。

資源リサイクルステーション設置施設は次のとおりとする。

名称	住所
橋本台リサイクルスクエア	相模原市緑区下九沢2084-3
麻溝台リサイクルスクエア	相模原市南区麻溝台1524-1
津久井クリーンセンター	相模原市緑区青山3385-2

4 発生数量

品目	数量	荷姿
廃スプレー缶類	135,000kg	フレコンバック及び袋

※フレコンバックは、受注者が用意し、指定保管施設に貸与するものとする。

※発生数量は上記の量を予定しているが、保証するものではない。

5 業務内容

(1) 指定保管施設からの対象物の搬出

ア 原則として、週に2回とし、月曜日から金曜日（12月31日から1月3日

までを除く。)の間に行うこととする。

イ 搬出量の増加により、搬出回数の追加を指示することがある。

ウ 具体的な日時については、契約締結後速やかに、発注者と協議すること。

エ 必要な場合は、発注者と受注者との協議により個別に曜日や時間の調整を行う。

(2) 資源リサイクルステーション設置施設からの対象物の搬出

ア 契約期間中に概ね3か月に1回程度で最大4回、発注者が受注者に収集を依頼する。ただし、収集を依頼しない場合もある。

イ 搬出の具体的な日時は発注者及び受注者が協議して定める。

ウ 対象物は「ガス抜き機能」が壊れている等により中身が消費しきれずに残っているものである。

エ 対象物は原則、袋に入れた状態で受注者に引き渡すものとする。

(3) 対象物の運搬

ア 運搬用車両は受注者が用意する。

イ 対象物の積み込みは受注者の**資格保有者**が行うが、その際の資機材は指定保管施設において貸与するものとする。ただし、資源リサイクルステーション設置施設から搬出される対象物は袋に入れた状態で受注者に引き渡すため、資機材の貸与は行わない。

ウ 受注者は、指定保管施設から受注者の処理施設へ対象物を運搬する。

エ 対象物の計量は、搬出時に各指定保管施設の計量器を使用して行うものとする。

オ 対象物の運搬に関しては、再委託を認めないものとする。

(4) 対象物の処理

ア 対象物の処理は受注者の責任で行うこと。

イ 不燃性ガス(窒素ガス)を充填した装置内で処理できる機器により無害化処理を行うこと。

ウ 無害化処理後の対象物は、金属として再資源化すること。

エ 無害化処理中に発生する廃液については、適正に処理すること。

オ 処理過程で生じる残渣については、適正に処分すること。

カ 回収した可燃性ガスはそのまま大気放出しない処理をする。

キ 対象物の処理に関しては、再委託を認めないものとする。

6 業務報告等

受注者は、運搬した数量及び資源化量を指定保管施設別に月ごとに集計し、業務履行日の属する月の翌月5営業日までに実績報告書を提出する。資源リサイクルステーション設置施設分の計量は3施設分を一括で計量することを認める。

なお、実績報告書には指定保管施設において計量を行った際の計量票を添付し提出

するものとする。

ただし、資源リサイクルステーション設置施設から搬出される対象物は、受注者が所有する計量器で計量を行い、計量票を添付し、指定保管施設分とあわせて報告すること。

7 事故発生時の対応

受注者は、労働災害等の事故が発生した場合は、所要の処置を講ずるとともに、関係者に対しては、誠意を持って対応すること。また、事故や被害の大小に関わらず、直ちに発注者に報告し、速やかに事故の顛末を記載した事故報告書を提出すること。

8 労働災害・事故対策

受注者は、当該業務の履行に際しては、以下の事項を遵守し、労働災害・交通事故等の防止に努めなければならない。

- (1) 事故防止については、十分留意の上、従事者の教育に努めること。
- (2) 受注者は、労働基準法（昭和22年法律第49号）、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）及びその他の関連法令に定めることにより、従事者に対する安全衛生についての対策を適正に実施すること。
- (3) 受注者は、業務履行にあたり、電気・薬品・毒性ガス・酸欠空気・可燃性ガス等に関し必要な安全対策を行うこと。また、適切な作業方法の選択並びに作業員の配置を行い、危険防止に努めること。
- (4) 業務に使用する車両は、受注者の負担により、自動車損害賠償責任保険及び任意保険に加入すること。
- (5) 発注者は業務が安全に履行できるよう協力するものとし、受注者から改善要請があった場合、受注者及び発注者で協議し、必要な安全措置を講ずるものとする。

9 法令等の遵守

受注者は、業務を実施するにあたり関係する法令等を遵守しなければならない。

10 環境への配慮

- (1) 「相模原市環境方針」の主旨を理解し、業務を行うこと。
- (2) 発注者への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。
- (3) 業務実施時に車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底すること。
- (4) 業務の実施においては、廃棄物の減量化・資源化に取り組むとともに、廃棄物の処理にあたっては、関係法令等を遵守し、適正に処理すること。

1 1 事前協議関連

(1) 受注者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条第3項及び同法施行令第4条第9号イの規定に基づき、処理施設が所在する市区町村との一般廃棄物処理における事前協議を発注者が行う際に支障がないようにすること。また、事前協議に協力すること。

(2) 事前協議で届出を行っていない車両での対象物の搬出業務を行ってはならない。

1 2 その他

本仕様書に定めのない事項については、発注者及び受注者が協議して定める。